

動物の飼育実習を行うにあたって

市立大町山岳博物館

1 実習の注意点

- (1) 博物館で飼育している動物たちは、すべて**野生動物**です。ペットとは違いますので、どの動物の飼育舎に入るときも、動物の行動をよく観察し、油断しないようにしてください。**(動物に対して、すきを見せないこと)**
また、動物に背中を見せて作業することは、とても危険です。常に動物の居場所や、様子に気を配るようにしてください。
- (2) 動物の飼育舎に入るときは、動物を驚かさないうえに、必ず動物に**声をかけて**からはいるようにしてください(「おーい、これから入るよー」など)。
- (3) 動物が興奮して暴れたり、攻撃してきたりと思ったり様子がおかしいと思ったり、動物を怖いと思ったりときは、**1人で作業をせず、2人以上で作業**してください。
- (4) 作業中の扉の開閉には、動物の行動に注意してください。そして、**作業後の扉の施錠は、必ず確認**してください。
- (5) 飼育舎や放飼場は、清潔にしてください。
- (6) 飼育舎内の飲み水を確認し、きらさないようにしてください。
- (7) 作業に使用した道具(スコップ・バケツ・ホースなど)は、泥や汚れを落とし、きちんと整理してください。
- (8) 事故やケガを防止するため、動きやすい服装で作業してください。
- (9) 飼育舎は必ず長靴で入室し、各飼育舎から管理舎へ戻ったら、毎回必ず液体の消毒槽で靴底を消毒してください。
- (10) **作業の前と後には必ず手を洗ってください。**(これは、博物館の外から飼育動物にかかる病気の持ち込みを防ぐとともに、飼育動物から人間への病気の感染を防ぐためです)

2 服装

- ・普段の通学時の服(学生服など)で来館してください。(作業前に着替えます)
- ・運動靴(飼育舎での作業前に長靴に履き替えます)

3 持ち物

- ・長袖・長ズボン(汚れてもよく、動きやすいもの。体操着などで可)
- ・長靴
- ・ゴム手袋(水を使う作業で使用します)。
- ・雨具(上下別になっているタイプ。雨天時の作業で使用します)
- ・手ぬぐいまたはタオル(頻繁に手洗いをします。また、汗をぬぐいます)
- ・水筒またはペットボトルの飲み物(屋外での作業が多いため、こまめに水分補給をします)
- ・昼食
- ・筆記用具
- ・着替え用の半袖シャツ(暑い時期の作業では、汗をかいたら着替えます)
- ・来館時の服を入れておく袋(作業前に着替えた服を入れて置いておきます)